

八女市定住自立圏 共生ビジョン

～「地域の暮らしが輝く
八女共生・交流ネットワーク」の構築に向けて～

平成22年12月

福岡県八女市

目次

第1章	はじめに	1
1	共生ビジョンについて	1
	(1) 共生ビジョン策定の目的	1
	(2) 定住自立圏の名称	2
	(3) 圏域の区域	2
	(4) 共生ビジョンの計画期間	2
2	圏域の概況	3
	(1) 地勢・歴史について	3
	(2) 人口について	4
	(3) 生活機能について	5
	(4) 結びつきやネットワークについて	6
	(5) 圏域マネジメントについて	7
第2章	圏域の将来像	8
1	定住自立圏の形成に向けた基本的な視点	8
2	圏域ネットワークの構築	9
3	各施策分野における方向	11
	(1) 圏域の生活機能の強化に向けて	11
	(2) 圏域の結びつきやネットワークの強化に向けて	11
	(3) 圏域マネジメントの強化に向けて	12
第3章	具体的な取り組み	13
1	生活機能の強化	13
	(1) 地域保健医療体制の充実	13
	(2) 福祉の充実	18
	(3) 産業の振興	20
2	結びつきやネットワークの強化	26
	(1) 地域公共交通ネットワークの構築	26
	(2) 情報格差の解消に向けたICTインフラ整備	28
	(3) 圏域内外の住民との交流・移住促進	30
3	圏域マネジメント能力の強化	36
	(1) 行政関係職員の育成	36
	(2) 地域を担う人材の育成	37
資料	八女市定住自立圏形成方針	39

第1章 はじめに

1 共生ビジョンについて

(1) 共生ビジョン策定の目的

戦後の高い経済成長は、全国のどこに住んでいても同じような生活水準を享受できる均衡発展を実現しました。しかし、現在ではその経済も低成長期に入り、さらに国の総人口も減少する時代へと移りました。とりわけ、地方は、長期に渡る経済の低迷と人口減少、さらに高齢化といった課題に直面しており、その将来の見通しも極めて厳しい状況です。

このような課題を克服し、“いつまでも、安心して暮らせる地域”をつくるために、国の「定住自立圏構想」事業により、平成21年4月に八女市が「中心市宣言」を公表し、同年12月に旧黒木町、旧立花町、旧矢部村、旧星野村のそれぞれと「定住自立圏形成協定」を結びました。

「定住自立圏構想」とは、通勤や通学、買い物などの日常生活の範囲をひとつの圏域として捉え、その中に働く場や買い物、病院、学校などのような都市機能を集約的に整備する地域と、豊かな自然環境や伝統・文化などの地域特性を守る地域とを区分し、それぞれの地域がその役割分担に基づき、協調・協力して、圏域全体を暮らしやすく自立した地域にしようとするものです。

平成22年2月には、圏域を構成する八女市と、旧黒木町、旧立花町、旧矢部村及び旧星野村の1市2町2村が合併し、“新”八女市となったため、合併前の八女市は八女地域に、合併前の黒木町、立花町、矢部村及び星野村はそれぞれ黒木地域、立花地域、矢部地域、星野地域と呼称を改めて、新たに「八女市定住自立圏形成方針」を策定することとなりました。

この共生ビジョンでは、上記の「八女市定住自立圏形成方針」に基づいて、めざすべき圏域全体の将来像を描き、その実現に必要な具体的取り組みをまとめています。

■ 共生ビジョン策定までの経緯

- 平成21年 4月 八女市が中心市宣言を公表
- 平成21年12月 八女市と旧2町2村との間で定住自立圏形成に関する協定を締結
- 平成22年 2月 八女市と旧2町2村が合併し、“新”八女市が誕生
- 平成22年12月 定住自立圏形成方針を策定
- 平成22年12月 定住自立圏共生ビジョンを策定

(2) 定住自立圏の名称

本ビジョンの対象となる定住自立圏の名称は「八女市定住自立圏」です。

(3) 圏域の区域

八女市定住自立圏の区域は「八女市」です。

(4) 共生ビジョンの計画期間

平成22年度から平成26年度までの5年間とします。ただし、毎年度所要の見直しを行います。



圏域西部の丘陵地帯に広がる茶園の風景

2 圏域の概況

(1) 地勢・歴史について

八女地域、黒木地域、立花地域、矢部地域及び星野地域（それぞれ平成22年2月の合併前の旧市町村の範囲）で構成されている本圏域は、福岡県の南部に位置し、北は久留米市、うきは市、広川町、西は筑後市、みやま市、南は熊本県、東は大分県との県境に接しています。

総面積は、482.53km²と广大で、東部には標高1,230.8mの県内最高峰の釈迦岳を擁し、それを源とした一級河川矢部川及びその水系の星野川の清流が市の中央を西に流れ、有明海に注いでいます。

地形は、東部の起伏の険しい山間地帯と、中央部の比較的なだらかな丘陵地帯、そして西部の平野地帯と変化に富んでおり、土地利用の大半は森林が占めています。気候は、西部の有明海型と東部の山地型に分かれますが、温暖な気候と肥沃な土地条件を生かした、お茶の生産などの農林業が盛んです。

本圏域は、江戸時代は久留米藩と柳河藩に属し、明治4年の廃藩置県までは久留米県及び柳川県と分かれていましたが、同年には三潁県になり、さらに明治9年には福岡県に統合されました。そのため、本圏域は古くから生活・文化圏としてのまとまりは強く、行政においても、清掃や消防などの基礎的な住民サービスから観光などの地域振興の分野に及ぶまで、一部事務組合などの形で協力して運営されてきました。

図1 圏域の位置



(2) 人口について

圏域人口の推移をみると、昭和60年の国勢調査では84,556人であった人口は、平成12年の同調査では76,689人、そして平成17年の同調査では73,262人へと減少を続けています。(グラフ1参照)

また、年齢構成でみると、生産年齢人口(15歳以上～65歳未満)は昭和60年の64.3%から平成17年の58.8%と減少し、老年人口(65歳以上)は昭和60年の15.1%から平成17年の27.5%に増加しています。(表1参照)このような現象には、単に少子高齢化だけではなく、若年労働者の圏域外転出も大きな要因になっていると考えられます。国全体が人口減少社会を迎えるなかで、現状のままでは、人口減少と少子高齢化が一層進むとの推計もあり、定住に必要な都市機能や生活機能をより一層高める必要があります。

グラフ1 圏域の人口推移(国勢調査) (人)

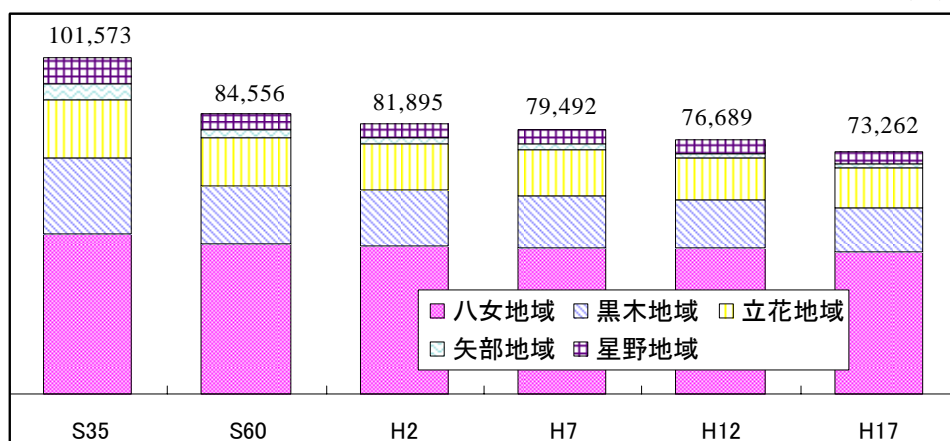
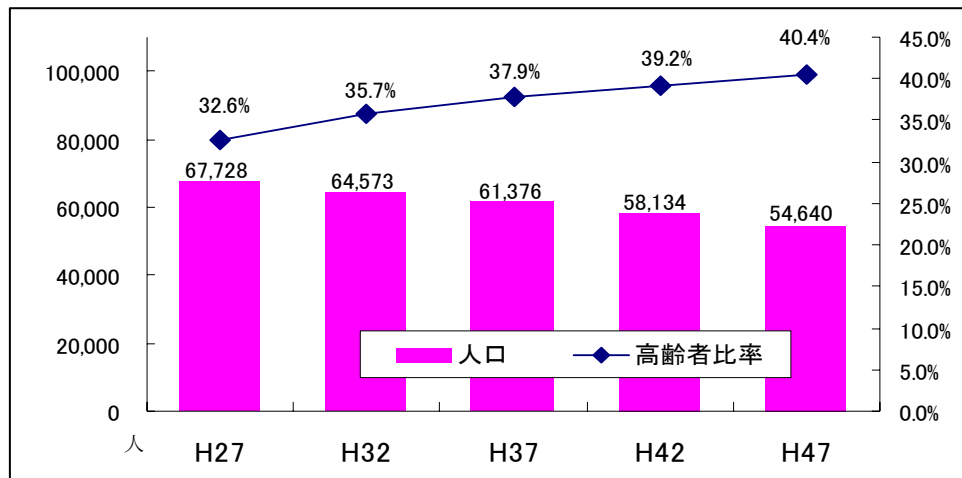


表1 圏域の年齢階層別人口の推移(国勢調査) (人、%)

	昭和35年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
総人口	101,573	84,556	81,895	79,492	76,689	73,262
年少人口 (15歳未満)	33,982 33.5%	17,402 20.6%	15,883 19.4%	13,969 17.6%	11,846 15.4%	10,056 13.7%
生産年齢人口 (15歳以上～65歳未満)	60,128 59.2%	54,408 64.3%	51,744 63.2%	49,017 61.7%	46,046 60.0%	43,043 58.8%
老年人口 (65歳以上)	7,463 7.3%	12,746 15.1%	14,241 17.4%	16,469 20.7%	18,794 24.5%	20,162 27.5%

※総人口には年齢不詳を含む。また、端数処理のため、%は100%を上下する場合があります。

グラフ2 圏域人口の将来推計



※平成17年国勢調査をもとにしたコーホート要因法による推計値(資料:国立社会保障・人口問題研究所)

(3) 生活機能について

圏域は、比較的雇用機会に恵まれ、生活インフラも整備された都市機能が集積している地域と、そうでない地域とに大別され、人口やその年齢構成などに違いがみられます。

特に、農林業以外には若年層の就業機会に乏しい山間地域では過疎化・高齢化が著しく、医療機関の閉鎖や小中学校の統廃合など、基礎的な住民サービスの分野にも大きな影響が現れています。また、一部の集落においては、過疎化と高齢化により、共同作業などの集落機能の低下が危惧されています。

表2 都市機能施設の集積状況

(箇所、床)

地域区分	病院	うち 救急告 示病院	病床	幼稚園	学習塾	高等 学校	銀行
八女地域 A	6	3	1,262	5	12	4	5
周辺 地域	黒木	-	-	1	2	-	2
	立花	-	-	-	1	-	-
	矢部	-	-	-	-	-	1
	星野	1	-	160	-	-	1
圏域計 B	7	3	1,422	6	15	4	9
中心地域集積率 (%) A/B	86	100	89	83	80	100	56

(4) 結びつきやネットワークについて

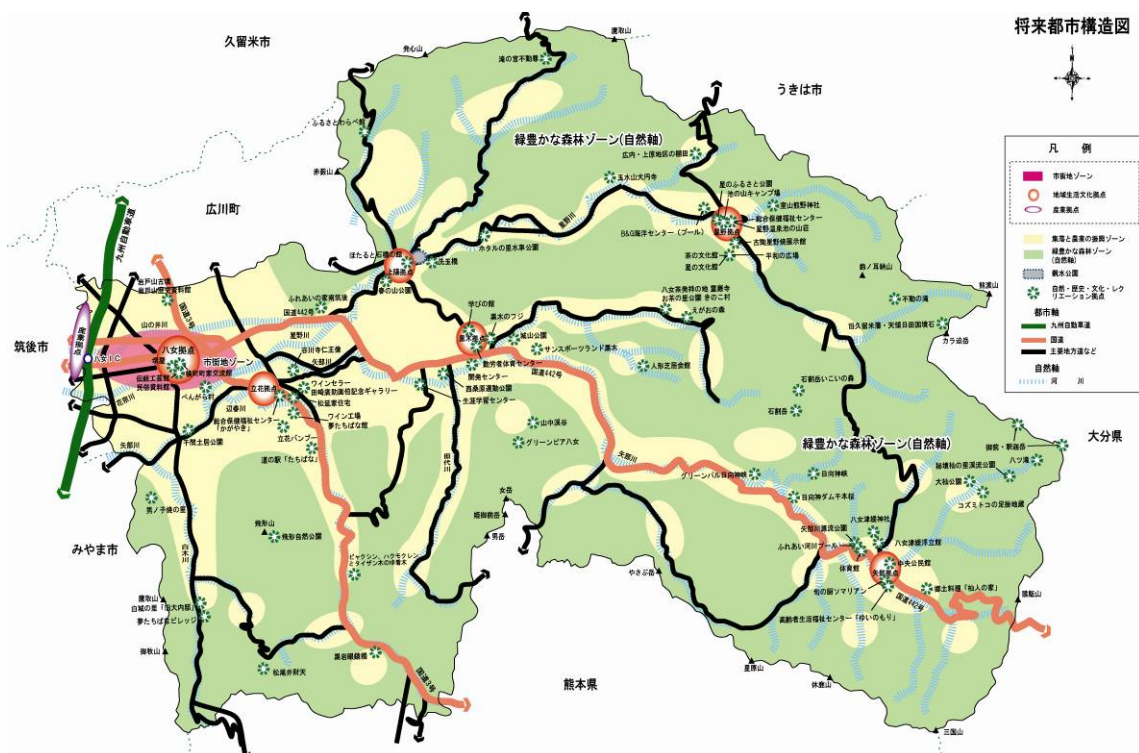
九州縦貫自動車道と一般国道3号が平行して本圏域内を南北に走り、それらに垂直に交差する形で東西には一般国道442号が走っています。

これらの道路網を利用した通勤、買物等の生活・経済圏は、小さくは本圏域と筑後市、広川町で形成される旧八女郡エリアであり、大きくは久留米経済圏、福岡経済圏などの影響も受けています。

圏域内には鉄道がなく、近年は圏域唯一の公共交通機関である地域バス路線も廃止が続き、日常の移動手段は自家用車に依存しなければならない公共交通の空白地域が拡大しています。

また、光ファイバーによる高速大容量通信の環境が整備されているエリアは圏域の一部に限られており、産業や生活などの面で情報化社会への対応が遅れている地域もあります。

図2 新市基本計画におけるゾーニング



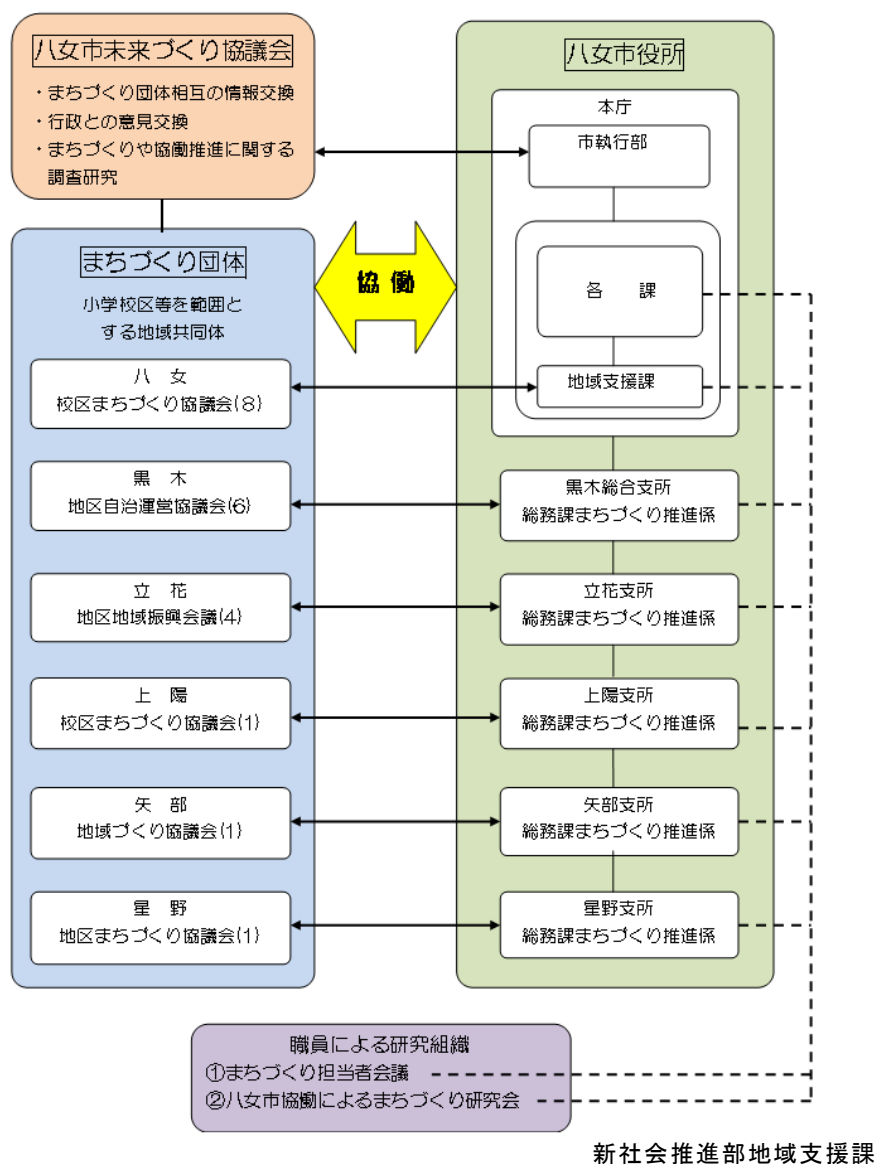
(「新市基本計画」平成20年3月八女地区1市2町2村合併協議会より転載)

(5) 圏域マネジメントについて

今後の圏域の運営においては、市町村合併に伴い増加し多様化した圏域の人的、物的特性を総合的に把握し、それを圏域全体の成長戦略として組み立てるような、いわば経営の視点が必要となります。とりわけ、その牽引役として期待される行政関係の職員には、高いレベルの企画・政策立案能力が求められます。

また、国や他地域の状況に左右されず、真に自立した圏域として、豊かな暮らしを実現するためには、住民や企業と行政との関係及びそれぞれの役割などを再構築したうえで、地域に暮らす人々には自らが地域の担い手としての自覚と、主体的な地域づくりの実践が求められます。

図3 市民との協働によるまちづくりの推進体系図



第2章 圏域の将来像

1 定住自立圏の形成に向けた基本的な視点

圏域の特徴として、その広大な面積と人口密度の低さを挙げるができます。広大な圏域内に点在するそれぞれの地域間には、地形や気候といった自然条件をはじめとして、人口規模やその年齢構成、道路や情報通信、公共交通網などの生活基盤、さらに就業機会や医療機関の受診機会に至るまで、社会生活条件のさまざまな面に違いがあります。

このような現状に、さらに今後の人口減少や高齢化の進行を考慮すれば、周辺地域はもとより、都市機能の集積した中心地域においてさえその衰退が危惧されます。加えて、圏域を取り巻く経済・財政状況は厳しく、これまで以上に選択的な財政運営が求められています。

こうした圏域における地域格差や圏域を取り巻く厳しい状況を踏まえ、圏域づくりの基本的な視点を次のとおり設定します。

圏域づくりの3つの視点

地域資源の活用

圏域の魅力の向上と“八女らしさ”を発揮するために、多様で多彩な地域資源の活用を図ります。

都市機能の強化

圏域がより暮らしやすい地域となるために、連携と役割分担による都市機能の強化を図ります。

交流の促進

圏域が一体的に活性化するために、圏域内外における人・物・情報の交流の促進を図ります。

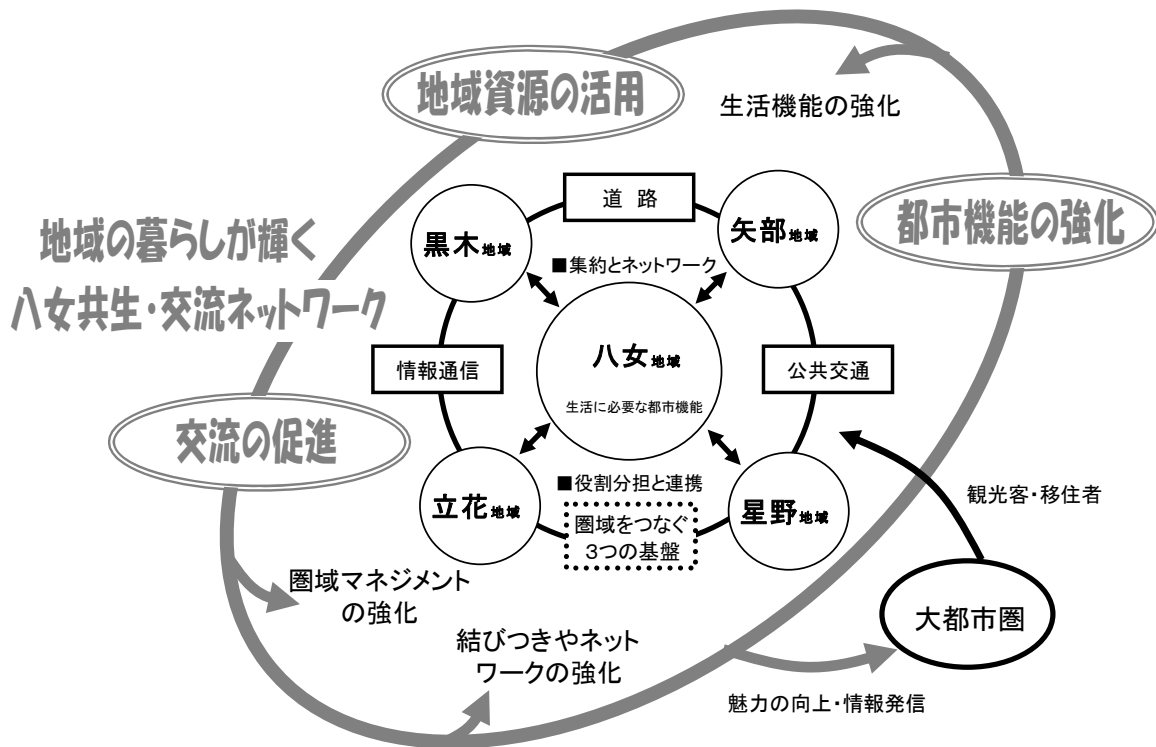
2 圏域ネットワークの構築

八女市定住自立圏では、圏域づくりの3つの視点を踏まえ、「圏域ネットワーク」の構築により、各地域が有する都市機能や多くの地域資源の活用と、圏域内外の交流促進などの施策を展開するとともに、「定住」するために必要な生活諸機能の充実や「自立」のための経済基盤を培い、次のような将来像を目指します。

圏域の将来像

地域の暮らしが輝く 八女共生・交流ネットワークの構築

図4 圏域ネットワーク全体イメージ



～地域の暮らしが輝く 八女共生・交流ネットワークの構築～

中心地域である八女地域は、圏域全体の暮らしに必要な都市機能が集約的に整備されていますが、今後なお一層の生活機能の確保、充実に努め、圏域各地域の均衡発展には十分に配慮しながら、利便性の向上など定住促進のために必要な生活機能の強化を図ります。

また、周辺地域ではそれぞれが必要な生活機能の確保、充実に努めるとともに、本圏域の宝である自然環境の保全や、各地域に残る歴史や伝統文化の保存・継承を持続しながら、地域間の特性を相互に尊重して、魅力ある圏域づくりのためにそれぞれの役割を果たしていく必要があります。

こうした地域の役割分担と連携の強化に向け、各地域を結ぶ3つの基盤である道路や交通、情報通信ネットワークを整備します。そして、圏域の中心地域に集中的に医療や高等教育機関などの都市機能の充実に努め、さらに工業団地の整備などにより就業機会を確保したうえで、ネットワークの活用により、中心地域の活力を豊かな自然環境に恵まれた優良な居住空間を有する周辺地域に波及させ、相互の特性を生かした圏域全体の浮上をめざします。

また同様に、整備された交流拠点施設や各ネットワークの活用で圏域内外との交流機会を増やし、賑わいの再生とともに、自然環境や景観、歴史・伝統、高品質の農林産物などの豊かな地域資源を活用した観光産業などの振興を図ります。

このように、生活や産業面などでの圏域の魅力向上と外部への情報発信能力の強化により、大都市圏から圏域への観光客・移住者の増加を図り、圏域全体の活性化を図ります。

3 各施策分野における方向

圏域としての将来像を実現するため、3つの施策分野(生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化)において事業を展開していきます。

3つの施策分野における基本方針は以下のとおりです。

(1) 圏域の生活機能の強化に向けて

少子高齢化が急速に進行する中で、圏域住民が地域で安心して暮らせるよう、圏域一体となった健康診査(検診)体制の充実や介護予防事業の展開などの健康づくりへの支援とともに、受診機会の確保に向け、圏域の中核的医療機関である公立八女総合病院の安定運営やへき地医療の充実に向けた取り組み、さらに救急医療体制の整備・強化などを図ります。

また、地域で自立できる経済基盤の確立に向けて、特産品の開発及び販路の拡大、ブランド化の支援などの農業振興をはじめとして、林産物の付加価値向上などの林業振興を図ります。

さらに、空き店舗対策などによる中心市街地の活性化とともに、観光や芸術・文化、市民活動などを通して圏域内外との交流を盛んにするために地域交流センターの活用を図ります。

こうした取り組みに加え、伝統工芸品などの地場産業の育成支援、工業団地の整備と企業誘致を図り、圏域での雇用の場の創出を図ります。

(2) 圏域の結びつきやネットワークの強化に向けて

圏域における各地域の連携を強化し、日常生活の利便性の向上とともに圏域内外の交流を促進させるためにドアツードアの予約型乗合タクシーを運行するとともに、主要幹線における路線バスの維持を図ります。

また、圏域内の情報格差の解消に向け、光ファイバー網の整備による情報通信基盤の整備を図り、防災や行政サービスなどの面での活用を図ります。さらに、道路や駐車場、観光関連施設・設備などの整備を進め、観光拠点のネットワーク化や地域イベントの充実を図ります。また、インター

ネットなどを活用した観光情報の発信を通して、地域資源のさらなる魅力の向上を図ります。

加えて、定住・移住促進に向けた、空き家バンク事業や結婚サポート事業の推進を図ります。

(3) 圏域マネジメントの強化に向けて

分権型社会の一層の進展や社会・経済情勢の変化とともに、多様化・高度化する行政ニーズに対応するため、行政関係職員の企画・政策立案能力の向上を図ります。

また、地域住民自らの手によるまちづくり活動の活性化に向け、各種市民団体の自主的な活動の基盤となる組織の運営支援とともに、市民によるまちづくり提案制度の確立を図ります。



整備の進む都市計画道路の様子

第3章 具体的な取り組み

1 生活機能の強化

(1) 地域保健医療体制の充実

①健康診査(検診)事業の推進

【課題と取り組み方針】

少子高齢化が急速に進行する中で、健康に対する人々の関心は一層高まっており、一人ひとりの自主的な健康づくりを支える環境の整備が求められています。

このため、圏域住民の健康増進と疾病の予防による健康寿命の延伸をめざして、それぞれの年代別の生活状況に応じた健康診査(検診)を実施し、さらに子どもの健やかな成長サポート、乳幼児の育児支援、高齢者への介護予防事業などの健康づくり事業を実施します。

【具体的事業】

事業名	健康増進事業					
事業概要	健康教育や健康相談、訪問指導に加え一般健康診査、ガン検診などの健康診査(検診)を実施して、圏域住民の健康を増進し、圏域の保健衛生水準の向上を図る。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	84,000	92,000	92,000	92,000	92,000	452,000
活用する補助金等	健康増進事業費補助金					
期待される事業成果	健康教育や健康相談、訪問指導の実施により圏域住民の健康増進と疾病の予防を図る。また、各種健康診査(検診)の実施により、疾病の早期発見、早期治療が可能となり、市民の健康を維持する。					
地域間の役割分担	■中心地域 圏域住民の健康増進と疾病の予防による健康寿命の延伸をめざし、それぞれの年代別の生活状況に応じ、圏域住民が主体的に取り組む健康づくりを効果的に推進するための必要な支援を行なう。					

	<p>■関係する地域</p> <p>中心地域及び関係機関と連携し、健康診査(検診)事業などによる疾病の早期発見・早期治療の機会を確保する。</p>
--	---

事業名	介護予防事業					
事業概要	65歳以上の高齢者を対象に、介護が必要となる状態を予防することを目的として、健康講座や訪問指導などを実施する。また、健康づくりリーダーとして活動できるボランティアを養成し、地域活動を育成・支援する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	21,000	28,000	28,000	28,000	28,000	133,000
活用する補助金等	地域支援事業交付金					
期待される事業成果	高齢者の健康を維持し、介護が必要となる状態を予防することで、質の高い日常生活を確保する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域</p> <p>介護予防サービス・プログラムの作成及び講座・講演会の開催、訪問指導の実施に必要な支援を行う。また、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するために健康づくりリーダーを養成することにより介護予防事業を推進し、健康長寿をめざす。</p> <p>■関係する地域</p> <p>中心地域と連携して、講座等の開催及び訪問指導、相談業務を実施するとともに、住民への事業周知を図り、介護予防事業への対象者の参加促進を図る。</p>					



高齢者健康づくりリーダー養成研修の様子

②受診機会の確保

【課題と取り組み方針】

本市の医療体制は、地域の中核的医療機関である公立八女総合病院をはじめとして、病院7箇所、一般診療所47箇所、歯科43箇所が立地しています。

圏域東部の山間地域においては、医療機関が少なく最寄りの医療機関までの距離が遠い地域であるにもかかわらず、路線バスなどの移動手段に乏しいため受診機会の確保も困難な状況です。

このような課題を克服し圏域全体の医療体制の安定を図るため、圏域の拠点病院である公立八女総合病院を中心として、圏域内の各医療機関の連携を強化し機能分担を促進します。

また、関係機関と連携し、在宅当番医制、病院群輪番制事業などの救急医療体制の整備を図り、さらに山間地域においても医療体制の整備を進め、医療サービスの安定した提供を図ります。

【具体的事業】

事業名	公立八女総合病院運営事業					
事業概要	八女市、広川町の1市1町が開設する総合病院で、診療圏人口約10万人の八女地方の地域中核病院として、先進高度医療機器を設置し29診療科、病床数330床の体制にて診療を実施する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	488,000	488,000	488,000	488,000	488,000	2,440,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	当圏域の地域中核病院として、住民に対して救急及び先進高度医療を提供する。また、地域医療機関との連携により住民の健康を守り、安心して暮らせる地域づくりを実現する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域</p> <p>圏域内の拠点病院である公立八女総合病院を中心として、圏域内各医療機関の相互の連携や機能分担を推進するとともに、地域医療のネットワーク化を促進するための必要な支援を行なう。</p> <p>■関係する地域</p> <p>中心地域及び関係機関と連携し、地域医療ネットワーク整備、救急医療体制整備など、地域医療体制の整備を図る。</p>					

事業名	救急医療対策事業					
事業概要	<p>【在宅当番医制】 【病院群輪番制】 【歯科救急医療】</p> <p>休日及び夜間の救急医療を確保するために地域医療機関と協力して当番制を実施。</p>					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	95,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	休日及び夜間の救急医療・診療体制を確保し、安心な住民生活を維持確保する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 関係機関と連携し、在宅当番医制及び病院群輪番制並びに歯科救急医療が円滑に運営されるための必要な調整及び支援を行なう。</p> <p>■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、在宅当番医制及び病院群輪番制並びに歯科救急医療が円滑に運営されるために必要な支援を行なう。</p>					

事業名	矢部診療所運営事業					
事業概要	無医地区にへき地診療所を設置し、住民に対して健康診断及び健康相談、療養の指導及び相談、診察等を行う。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
活用する補助金等	へき地診療所運営費補助金					
期待される事業成果	無医地区を解消し、圏域住民に対し良質で適切な医療を効率的に提供し、住民の健康保持増進を実現する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 事業の総合調整を図り、へき地において安定した医療サービスを継続させるために必要な医療体制の整備を実施する。</p> <p>■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、へき地において安定した医療サービスが提供できるよう医療体制の整備を実施する。また、医療に関する地域住民のニーズ把握に努める。</p>					

事業名	矢部歯科診療所運営事業					
事業概要	無医地区に歯科診療所を設置し、住民に対して診察等を行う。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	43,500
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	無医地区を解消し、圏域住民に対し良質で適切な医療を効率的に提供し、住民の健康保持増進を実現する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域</p> <p>事業の総合調整を図り、医療体制の整備を促進することで、へき地における歯科医療サービスの提供を安定的かつ効率的に実施する。</p> <p>■関係する地域</p> <p>中心地域及び関係機関と連携し、へき地において安定した歯科医療サービスが提供できるよう医療体制の整備を推進する。また、医療に関する地域住民のニーズ把握に努める。</p>					



圏域の中核的医療機関である公立八女総合病院

(2) 福祉の充実

①子育て支援の充実

【課題と取り組み方針】

核家族や保護者が就労している世帯が増加し、地域における人のつながりが希薄になっている環境での子育ての負担は大きなものになっています。

その対策として、地域において子育ての支援を受けたい人と、提供できる人とが会員となり、育児などについて助け合うファミリー・サポート・センター事業を推進します。

また、保護者が就労しているなどの事情により、病児・病後児保育が困難な時に専門施設で一時的に預かる病児・病後児保育事業を実施し、子育て環境の整備を図ります。

【具体的事業】

事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業					
事業概要	地域において子育てに関する支援を必要とする人と提供できる人とが会員となり、育児などについて助け合う会員組織であるファミリー・サポート・センターの運営。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500
活用する補助金等	次世代育成支援対策交付金					
期待される事業成果	子育て支援を必要とする人への支援を行うことにより、地域での子育て環境の整備を図る。					
地域間の役割分担	■中心地域 センターの運営を図るとともに、圏域全体への事業拡大を図るため、会員登録の募集などを実施する。 ■関係する地域 中心地域と連携し、住民への事業の周知とともに、利用促進を図る。					

事業名	病児・病後児保育事業					
事業概要	病児・病後児で集団保育が困難な児童を、専門施設で一時的に預かる。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	120,000
活用する補助金等	保育対策事業費補助金					
期待される事業成果	病児・病後児で集団保育が困難な児童を、専門施設で保育することで、保護者の子育てと就労を支援する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 事業の円滑な運営を図るとともに、圏域全体への利用拡大を図るための周知を行う。</p> <p>■関係する地域 中心地域と連携し、住民への事業の周知とともに、利用促進を図る。</p>					



つどいの広場の様子

(3) 産業の振興

①雇用対策

【課題と取り組み方針】

本圏域の産業は、第1次産業に関連した茶加工などの食品業や製材業のほか、仏壇、提灯、手すき和紙、石灯籠など多様な伝統産業が中心となっていますが、後継者の確保や経営の安定、販路の拡大など多くの課題を抱えています。

また、地方における雇用環境は依然として厳しい状況にあり、本圏域においても、雇用機会の不足は深刻な問題であり、魅力ある雇用の場の確保が求められています。

このため、圏域経済の活性化及び自立に向けて、伝統工芸品などの地場産業の育成とともに、工業団地の整備と積極的な企業誘致などによる雇用の創出を図ります。

【具体的事業】

事業名	工業団地整備事業					
事業概要	【今福工業団地基盤整備事業】 工業団地へのアクセス道路等の整備 【前古賀工業団地(仮称)造成事業】 新規工業団地の造成工事 A=11.0ha					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	-	-	-	-	-	-
活用する補助金等	工業用地基盤整備事業補助金、工業用地開発調査事業補助金					
期待される事業成果	企業を誘致し雇用の場の確保と地域経済の活性化を実現する。					
地域間の役割分担	■中心地域 新たな雇用の場を確保するため、工場適地の確保や工業団地の基盤整備に努めるとともに、工業団地への企業誘致活動を積極的に行う。 ■関係する地域 中心地域と連携して、地域住民の雇用の場の確保とともに地域からの資材・材料調達などによる地域経済の活性化を図るため、企業誘致活動を積極的に行う。					

②農業振興

【課題と取り組み方針】

農業は本圏域の基幹産業としてその振興を図ってきました。しかし、近年の農業は、農作物の価格低下や従事者の高齢化、後継者の不足、耕作放棄地の増加などの厳しい課題に直面しています。

このような課題を克服し農業のさらなる振興を図るには、生産基盤の整備をはじめとして産地間競争を勝ち抜くための“八女ブランド”の確立や、国内及び海外市場に対応できる流通・販売体制の強化などによる農業の収益性向上が必要となっています。

具体的な取り組みとしては、全国的な知名度を誇る「八女茶」「玉露茶」の一層のブランド化をはじめとして、新たな特産品の開発支援や農家民泊などを通じた圏域内外との交流促進による農業の振興を図ります。

【具体的事業】

事業名	特産物開発・ブランド化事業					
事業概要	【農畜産物販売促進事業】 都市圏における販売促進活動及びマスメディアによる宣伝を行う。 【八女茶生産振興事業】 全国的な知名度を誇る「八女茶」「玉露茶」の生産・消費拡大を図るために、生産者に対して、品評会への出品、イベント等の消費宣伝事業、生産技術研修会の開催等を支援する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	14,500	14,500	13,000	13,000	13,000	68,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	地場産品の魅力と価値を高め、効果的に宣伝・販売することで売上げを伸ばし、地域経済を活性化する。					
地域間の役割分担	■中心地域 お茶やいちご、電照菊、果樹などの主要農作物の海外輸出など一層の販路拡大を推進し、特産品開発やブランド化を進める。 ■関係する地域 中心地域と連携し、その地域における主要農作物の販路拡大を図る。					

③林業振興

【課題と取り組み方針】

本圏域は、面積の大半を森林が占め、県内一の人工林地帯を形成しています。しかし、外材輸入などの影響で木材の価格は低迷し、今日の林業経営は厳しさを増しています。このような状況から林業の担い手が不足し、従事者にも高齢化が進むなど、今後の森林荒廃が危惧されています。

このため、森林の保全に積極的に取り組むとともに、林業生産基盤の整備や生産体制の見直し、観光との連携などにより林業の振興を図ります。

また、大学や事業者との産学官連携による調査研究を推進し、竹を資源としたバイオマス産業の創出を支援します。

【具体的事業】

事業名	林業振興事業
事業概要	<p>【荒廃森林再生事業】 荒廃した森林を再生することにより、公益的機能が十分に発揮できる緑豊かな環境の森林として保全し、次世代へ引き継ぐ。</p> <p>【流域森林総合整備事業】 国県事業の除間伐補助の上乗せや竹林のクヌギ林への転換助成を実施する。</p> <p>【森林組合担い手対策事業】 社会保険等の加入促進による労働条件の改善や技術技能向上対策を実施する。</p> <p>【森林地域活動支援対策事業】 森林整備のための作業道整備等の事前活動に対する支援を行う。</p> <p>【低機能森林間伐推進事業】 国県の補助対象外の間伐作業の補助を行う。</p> <p>【森林整備加速化・林業再生事業】 木材加工流通施設や高性能林業機械等を整備し、木材安定供給体制の確立と効率的な林業生産体制の整備を図る。</p> <p>【八女材普及促進住宅資材助成事業(仮称)】 八女材の需要拡大を図り、林業の発展とともに木材・木造住宅関連産業の活性化を図る。</p> <p>【特用林産基盤整備事業】 特用林産物の生産基盤の整備を推進し、地場産業の定着化を図る。</p> <p>【荒廃竹林根絶事業、荒廃竹林整備事業】 荒廃竹林対策として、荒廃竹林の皆伐等を実施する。</p>

	【林道開設・改良事業】 林道の新規開設及び改良・舗装工事を行う。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	290,000	410,000	410,000	410,000	410,000	1,930,000
活用する補助金等	荒廃森林再生事業交付金、美しい森林づくり基盤整備交付金、森林整備地域活動支援交付金等					
期待される事業成果	良質材の生産と作業の効率化を図り、圏域の主要産業である林業の振興を図る。林業従事者の雇用と収入を安定させ、地域経済の活性化と人口減少を防止する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 周辺地域及び関係団体と連携し、森林資源の確保及び保全を推進するとともに、林業の生産基盤の整備を行う。</p> <p>■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、地域の森林整備を推進する。</p>					

事業名	林産物付加価値事業					
事業概要	【竹利活用推進事業】 タケノコの生産基盤整備及び竹林間伐材の竹炭製品等への有効利用を促進するために、(株)立花バンブーの間伐材収集システムの維持を支援する。また、産学官連携によるバンブーバレー構想の実現をめざす。					
	【竹食器導入促進事業】 低環境負荷樹脂である竹ペレットの産業化に向けて、同素材を活用した竹食器の学校給食等への導入を促進する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	12,000	25,000	20,000	10,000	10,000	77,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	林産物の活用用途を拡大し、付加価値を高めることで、林業従事者の収入の増加を図り、地域経済の活性化及び地域振興を図る。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 事業の総合調整を図ることにより、林産物の付加価値を高め地域経済の活性化及び就業機会の確保を図る。</p> <p>■関係する地域 区域内の森林及び竹林を貴重な地域資源として捉え、中心地域及び関係機関と連携し、その保全や活用に努める。</p>					

事業名	バイオマスボイラ施設整備事業					
事業概要	観光施設(グリーンピア八女)に木材チップを燃料とするボイラを設置する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	-	72,000	-	-	-	72,000
活用する補助金等	地域新エネルギー等導入促進事業補助金					
期待される事業成果	化石燃料に代わるエネルギーとして、圏域に豊富な木材を燃料として活用する。間伐材などの有効活用とともに環境保全効果が期待できる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 事業の総合調整を図ることにより、林産物の付加価値を高め地域経済の活性化を図る。</p> <p>■関係する地域 区域内の森林及び竹林の保全に努め、原料の安定供給を図る。</p>					



竹林でのタケノコ掘りの様子

④商工業振興

【課題と取り組み方針】

本圏域の中心商店街は、八女・筑後圏域の商取引の拠点として発展してきましたが、人口の減少や車社会の到来による郊外型商業施設の進出により、その衰退が顕著になってきました。

また、本圏域には数多くの観光資源に恵まれていますが、さらなる魅力の向上に向けた、各地域の観光交流拠点のネットワーク化が課題となっています。

その対策として、中心市街地の活性化とともに、商業や圏域の観光交流の拠点となる物産館の整備と活用を図ります。

【具体的事業】

事業名	物産館整備事業					
事業概要	地場物産の展示施設を整備する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	61,000	150,000	-	-	-	211,000
活用する補助金等	まちづくり交付金					
期待される事業成果	圏域の表玄関である福島地区に圏域全体の物産品を展示することにより、圏域の宣伝・広告効果と物産の売り上げ増による経済効果が見込める。また、入り込み客の増加により、まちなかの賑わいを再生することができる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 物産館施設を周辺地域の住民の利用に供し、圏域内外との交流拠点施設として活用する。</p> <p>■関係する地域 物産館施設の利用を地域内の住民に周知し、活用を促進する。</p>					

2 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通ネットワークの構築

【課題と取り組み方針】

本圏域では、路線バス廃止などの影響で、一部の主要幹線以外には路線バスなどの公共交通機関が乏しく、住民の移動手段は自家用車が主となっています。そのために、自前の移動手段のない高齢者や学生などにとっては、通院、通学などの日常生活に大きな支障をきたしています。

この対策として、過疎化や高齢化が進行する山間地や、路線バス廃止による交通空白地域における住民の移動手段の確保として、予約型乗合タクシー事業を導入した新公共交通システムの構築を図ります。

また、圏域の中心地域と周辺地域とを結ぶとともに、近隣の鉄道などとのアクセスを確保し、圏域住民の利便性の向上や圏外との交流を促進するために路線バスの維持を図ります。

【具体的事業】

事業名	予約型乗合タクシー事業					
事業概要	公共交通空白地の利便性を向上させるために、電話で予約した利用者を自宅から目的地まで送り届ける乗合型タクシー運行事業。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	30,000	62,000	62,000	62,000	62,000	278,000
活用する補助金等	地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金					
期待される事業成果	公共交通空白地において、自家用車等の移動手段のない高齢者等の交通弱者に対し、通院、買い物等の利便性を向上させる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 実証運行を通じた検証を行い、圏域における公共交通システムの総合的な推進と調整を図る。</p> <p>■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、必要な調整を行なうとともに、事業を住民に周知し、その利用促進を図る。</p>					

事業名	路線バス運行維持事業					
事業概要	予約型乗合タクシーの運行エリア間を結ぶ民間事業者による路線バスの運行を維持するために経費の一部を負担する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	57,000	30,000	30,000	30,000	30,000	177,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	住民の通勤、通学、通院等の移動の利便性を確保する。また、駅や高速道路インターチェンジなどを結び圏域外からの観光客の入り込み数を増やす。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 予約型乗合タクシーとの接続など圏域の公共交通体系の整備及び事業者との連絡調整を図るとともに、利用者増加に向けた広報・PR活動を行う。</p> <p>■関係する地域 利用促進に向けた広報・PR及び利用者ニーズの把握を行う。</p>					



公共交通の空白地で運行される予約型乗合タクシー

(2) 情報格差の解消に向けた ICT インフラ整備

①インターネット環境整備

【課題と取り組み方針】

本圏域における情報通信基盤の整備状況は、市街地を有する西部と山間地域の東部では大きく異なります。民間企業が提供する高速通信サービスは、ほぼ市の西部に限られ、情報通信基盤の格差解消が緊急の課題となっています。

このため、ICTを積極的に活用し、情報通信条件不利地域における情報格差の解消に向け、ブロードバンド整備等の地域情報通信基盤整備を図ります。

【具体的事業】

事業名	情報通信基盤整備事業					
事業概要	【八女地域情報通信基盤整備推進事業】 ブロードバンド・ゼロ地域の解消に向けた、光ケーブルの敷設工事 L=420km					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	1,100,000	50,000	50,000	50,000	50,000	1,300,000
活用する補助金等	ICT交付金、公共投資臨時交付金					
期待される事業成果	ブロードバンド・ゼロ地域が解消され、生活面や経済面で情報化社会の恩恵を享受できる。					
地域間の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中心地域 各地域にあるブロードバンド空白地域に対し、高速情報通信基盤を整備することにより、圏域全体の高速情報通信ネットワークを構築する。 ■ 関係する地域 中心地域と連携して、事業の周知を図るとともに、その利活用を促進する。 					

②緊急情報伝達

【課題と取り組み方針】

本圏域の一部地域には、災害時などの緊急情報通信設備として、電話回線を利用したオフトーク放送などがありますが、その老朽化対策も含めて、市内全域をカバーする新たな情報通信手段の整備を推進する必要があります。

このため、緊急災害情報や行政情報など圏域の情報通信設備として、圏域全域をカバーするコミュニティFM放送施設の整備を図ります。

【具体的事業】

事業名	コミュニティFM放送事業					
事業概要	<p>【コミュニティFM放送施設整備事業】 防災、行政情報の伝達のために、FM放送施設を整備する。放送局1カ所、送信設備1式、衛星局1箇所</p> <p>【FM八女(仮称)運営支援事業】 コミュニティFM放送局の事業を維持させるために運営費を助成する。</p> <p>【緊急告知FMラジオ整備事業】 利用者の受信用FMラジオの普及整備を行う。</p>					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	3,700	210,000	235,000	38,000	38,000	524,700
活用する補助金等	福岡県市町村合併支援特例交付金					
期待される事業成果	広大な面積と山間地域を抱える圏域において、防災・行政情報の住民への伝達がスムーズになり、安心・安全な生活を確保することができる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 コミュニティFM放送施設の整備及び事業運営を図るとともに、利用者増加に向けた宣伝・PR活動を行う。</p> <p>■関係する地域 事業の住民への周知を図る。</p>					

(3) 圏域内外の住民との交流・移住促進

①観光交流

【課題と取り組み方針】

本圏域には、地域特性を生かした多様な観光・交流施設が整備されています。また、四季折々に趣向を凝らした祭りやイベントが開かれ、多くの入り込み客で賑わいます。

しかし、一部には道路や駐車場などの施設・設備が不十分であり、また公共の交通手段にも乏しいため、市内の各地域・施設を結ぶ観光ルートの設定などの阻害要因となっています。

圏域内外の住民との交流を促進するため、圏域内に点在する観光資源をつなぎ合わせた圏域内観光施設等のネットワークを構築し、歴史資源や伝統産業に加え奥八女の自然の魅力を一体化した観光ルートを開発します。また、イベントやインターネットなどを活用し圏域のPR活動の充実を図ります。

【具体的事業】

事業名	観光開発事業					
事業概要	観光推進組織の運営、地域ツーリズムの形成、観光商品の制作、パンフレット作成、ホームページ管理業務、観光事業広告・宣伝業務を実施する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	21,000	25,000	40,000	60,000	60,000	206,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	各地域の観光拠点のネットワーク化を図り、圏域としての魅力を向上させることで圏域内外の住民との交流が促進される。 また、圏域の観光資源を広く宣伝することで観光入込客数を増やし、地域経済を活性化させることができる。					
地域間の役割分担	■中心地域 各地域及び関係機関と連携し、広域観光ルート開発及び滞在型観光の推進、観光客受け入れ体制整備、集客のためのアプローチルート開発、圏域観光情報の発信等を行う。 ■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、地域にある観光施設及び観光資源のネットワーク化を促進する。中心地域と連携して、パンフレット等の配布及び地域観光情報の提供を行う。					

事業名	地域観光イベント事業					
事業概要	<p>【八女の祭り・雑の里八女ぼんぼり祭り補助金】 【八女茶山唄日本一大会、黒木大藤まつり、八女くろぎふるさと祭り補助金】 【八女上陽まつり実行委員会補助金】 【夢たちばな観梅会・立花町農業まつり補助金】 【星の新茶夏まつり補助金】 【八女矢部まつり、しゃくなげまつり補助金】 【八女星のふるさと自然学校運営補助金】他</p> <p>地域特性に根ざした各地域の祭り・イベント等を維持・継続させるために事業費を補助する。</p>					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	32,200	32,200	32,200	32,200	32,200	161,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	当圏域が誇る多種多様な地域特性の保存・継承とともに、観光資源として活用し地域経済の活性化及び地域の賑わいを再生させる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 圏域全体の事業管理及びマスコミ・観光客向けの宣伝を行うとともに、各地域との連絡調整を図る。圏域全体の観光施設及び観光資源を把握し、観光事業団体との連携を進め、ホームページ、パンフレット等の企画、作成及び配布など圏域の情報を発信する。</p> <p>■関係する地域 中心地域及び関係機関と連携し、イベント実施に向けた地元調整を図り、地域に根ざした効果的なイベントを実施する。</p>					



福島八幡宮(八女市本町)境内で、放生会の奉納行事として公演される燈籠人形の様子

②文化交流

【課題と取り組み方針】

本圏域には、岩戸山古墳などの八女古墳群をはじめ、各地域に有形無形の貴重な文化財が残っており、その適切な保全・継承と活用が課題となっています。

こうした貴重な地域資源を活用した文化交流を拡大するため、岩戸山古墳をはじめとする八女古墳群を歴史・文化遺産として保存し活用します。

また、民俗・伝統文化の保存・継承の支援を図るとともに、地域交流センターを活用して各種文化・芸術イベントの充実を図ります。

【具体的事業】

事業名	民俗・伝統文化、芸術イベント事業					
事業概要	<p>【風流はんや舞保存会事業】 【八女津媛神社の浮立伝承・保存事業】 【八女福島の燈籠人形保存会事業】 【土橋八幡宮神幸行事保存会事業】 【旭座人形芝居公演事業】 【田代風流保存会事業】 【大杉公園祭執行事業】 【世界子ども愛樹祭コンクール事業】 他</p> <p>地域の歴史・伝統等に根ざした民俗・伝統文化等の維持・伝承のため、公演事業費等を補助する。</p>					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	9,700	9,700	9,700	11,200	9,700	50,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	伝統文化の維持・継承及び観光資源としての活用により観光入込客数を増やし、地域経済を活性化する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域</p> <p>圏域全体の事業管理及び宣伝を行うとともに、各地域との連絡調整を図る。</p> <p>■関係する地域</p> <p>中心地域及び関係機関と連携し、イベント実施に向けた地元調整を図り、地域に根ざしたイベントを実施する。</p>					

事業名	地域交流センター運営事業					
事業概要	多目的ホールの運営(自主事業、貸館事業等)					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	-	90,000	90,000	90,000	90,000	360,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	歴史、文化、芸術などの分野で市民や観光客の交流拠点として施設を運営し、イベントの開催などにより空洞化が進む中心市街地の賑わいを再生する。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 施設の効果的な管理・運営とともに、施設利用促進に向けた宣伝を実施する。</p> <p>■関係する地域 交流センターの住民への周知を図り、積極的な活用を促進する。また、交流センターへの地域情報の提供を図る。</p>					



「地域交流センター」完成予想図

③定住・移住促進

【課題と取り組み方針】

社会経済状況の変化に伴い、労働人口の都市部への流出が続き、山間地などの条件不利地域においては人口減少やそれに伴う地域活力の低下が続いています。しかし、山間地域での自然体験や田舎暮らしへの志向の高まりからも分かるように、ストレス社会を生きる現代人への精神的な癒しの効果など、都市部にはない山間地域特有の魅力に注目が集まっています。

そこで、圏域内外に対して地域の魅力を積極的に発信するとともに、空き家などを活用した交流施策を推進し、定住人口や交流人口の拡大を図ります。また、圏域に居住し結婚を望む適齢期の男女に、圏域内外の異性との出会いの機会などを提供し、成婚までをサポートする結婚サポート事業を実施します。

【具体的事業】

事業名	空き家バンク事業					
事業概要	人口の流出によって生じた空き家をデータベース化し、インターネット等を利用してUJIターン希望者等に提供することで移住、定住を促進する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	-	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	圏域への転入者を増やすことにより、定住人口を増やすことができる。また、空き家の解消により防犯・防災などの安全面での効果が期待できる。					
地域間の役割分担	<p>■中心地域 各地域と連携し、空き家データの管理とともに、圏域内外への情報発信を行う。</p> <p>■関係する地域 地域住民への事業周知を図るとともに、空き家情報の収集を行う。</p>					

事業名	結婚サポート事業					
事業概要	圏域に居住し結婚を望む適齢期の男女に、圏域内外の異性との出会いの機会などを提供し成婚までをサポートする。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	-	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000

活用する補助金等	-
期待される事業成果	婚姻数の増加により、定住人口を増やすことができる。
地域間の役割分担	<p>■ 中心地域 事業の企画・運営を図るとともに、各地域と連携し、利用者の増加を促進する。</p> <p>■ 関連する地域 中心地域と連携し、地域住民への事業の周知を図るとともに、利用者の増加を促進する。</p>



男ノ子焼きの里(八女市立花町)の風景

3 圏域マネジメント能力の強化

(1) 行政関係職員の育成

【課題と取り組み方針】

今後、分権型社会の一層の進展や少子高齢化の進行をはじめとする社会・経済情勢の急速な変化とともに、行政ニーズは量的に増大し、質的にも一層複雑・多様化していくことが予想されます。

このように多様化・高度化する行政ニーズに的確に対応し、多様な地域資源を活用した圏域の振興を実現するために、行政関係職員の企画・政策立案能力の向上を目的とした自主企画の政策形成研修を実施し、行政関係職員の育成を図ります。

【具体的事業】

事業名	職員政策形成研修事業					
事業概要	担当業務に関連するテーマについて、先進事例の視察など職員自らの企画で研修を実施する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	先駆的な事例に直接触れることにより、行政関係職員が自らの業務についての知識を深め、さらに企画・政策立案能力を向上させることで、効率的・効果的な行政関係課題の解決や地域振興を図る。					
地域間の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中心地域 事業の執行管理、広報及び本庁職員の研修参加への支援を図る。 ■ 関連する地域 事業の広報を図るとともに、支所職員の研修参加への支援を図る。 					

(2) 地域を担う人材の育成

【課題と取り組み方針】

人口の減少とともに、本圏域においても地域連帯感は希薄化の傾向にあり、地域活動への参加者の固定化や高齢化、若者の参加者の減少が進んでいます。このような地域活力の低下が懸念される状況では、まちづくりの活動基盤となるコミュニティの再構築が重要な課題となっています。

このため、地域に根ざしたコミュニティ活動や、地域住民自らの手によるまちづくり活動の活性化に向け、各種市民団体の自主的な活動やその団体運営の支援とともに、市民によるまちづくり提案制度の確立を図り、地域を担う人材の育成を図ります。

【具体的事業】

事業名	みずから行動するまちづくり協議会等運営交付金事業					
事業概要	小学校区等の単位で活動するまちづくり団体の運営や、その活動を支援するために運営交付金を交付する。(対象団体数21)					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	11,700	11,700	11,700	11,700	11,700	58,500
活用する補助金等	-					
期待される事業成果	「自らの地域は、自らつくる」といった意識に裏打ちされた住民主体の自立した地域を作る。					
地域間の役割分担	■中心地域 事業全体の運営管理及び団体間の連絡調整を図る。 ■関連する地域 中心地域と連携し、事業の地域住民への周知を図るとともに、地域内団体間の連絡調整や各団体の活動支援を行う。					

事業名	市民との協働によるまちづくり提案事業					
事業概要	地域課題の解決や地域づくりに関する市民からの提案を公募し、一定の審査を経て採択された事業に対し事業費を補助する。					
概算事業費(千円)	H22	H23	H24	H25	H26	計
	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000

活用する補助金等	-
期待される事業成果	地域課題の解決に住民等の参画を促し、その活動を支援することで、住民が主体となった地域づくりを実現する。
地域間の役割分担	<p>■中心地域 募集、審査等の事業運営管理及び事業周知のための広報活動を行う。</p> <p>■関連する地域 中心地域と連携し、事業周知のための広報活動を行う。</p>



棚田(八女市星野村)での体験交流の様子

資料：八女市定住自立圏形成方針

八女市は、八女地域（平成22年2月1日の合併前の八女市の区域をいう。以下「中心地域」という。）と、黒木、立花、矢部及び星野地域（それぞれ平成22年2月1日の合併前の黒木町、立花町、矢部村及び星野村の区域をいう。以下「周辺地域」という。）で形成する「八女市定住自立圏」に関し、次の方針を策定する。

（目的）

第1条 この方針は、中心市宣言（定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第4の規定によるものをいう。）を行った八女市と、八女市が行った中心市宣言に賛同した周辺地域との間において、中心地域及び周辺地域が相互に役割を分担して定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、及び充実させるために、定住自立圏を形成することに関して必要な事項を定めることを目的とする。

（基本方針）

第2条 中心地域及び周辺地域は、前条に規定する目的の達成のために定住自立圏を形成し、次条に規定する政策及び施策の分野の取組において相互に役割を分担して連携を図り、共同し、又は補完しあうこととする。

（連携する取組の分野及び内容並びに役割分担）

第3条 中心地域と周辺地域が相互に役割を分担して連携を図り、共同し、又は補完しあう政策分野は次の各号に掲げるものとし、その取組の内容並びに当該取組における中心地域と周辺地域の役割は、当該各号に規定するものとする。

（1）生活機能強化に係る政策分野

ア 地域保健医療体制の充実

（ア）取組の内容

すべての市民が健康な生活を送るために、年代別の生活状況に応じた健康づくりを支援していくとともに、医療・保健・福祉の連携強化により、地域保健医療活動の一層の向上を図る。また、地域間にある医療機関の受診機会の格差解消に向けた施策を実施する。

（イ）中心地域の役割

- a 事業の全体調整を図るとともに、関係機関と連携し、各種健康診査（検診）の実施により、疾病の早期発見・早期治療を促進する。また、介護予防事業などの年代別の生活状況に応じた健康づくりシステムを整備する。
- b 圏域内の拠点病院である公立八女総合病院を中心として、圏域内各医療機関の相互の連携や機能分担を推進するとともに、地域医療のネットワーク化を促進するために必要な支援を実施する。
- c 関係機関と連携し、在宅当番医制及び病院群輪番制並びに歯科救急医療などの救急医療対策が円滑に運営されるための総合調整を実施する。また、事業の利用促進のために、広報活動などを実施する。
- d 無医地区において、安定した医療サービスが提供できるよう医療体制の整備を実施する。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 中心地域及び関係機関と連携し、各種健康診査（検診）による疾病の早期発見・早期治療を促進する。また、介護予防事業などの年代別の生活状況に応じた健康づくりシステムを整備する。さらに、地域住民に向けた事業活用のための広報活動などを実施する。
- b 中心地域及び関係機関と連携し、地域医療ネットワークの整備を実施する。
- c 中心地域及び関係機関と連携し、在宅当番医制及び病院群輪番制並びに歯科救急医療などの救急医療対策が円滑に運営されるために必要な支援を実施する。また、地域住民に向けて事業活用のための広報活動などを実施する。
- d 中心地域及び関係機関と連携し、無医地区において安定した医療サービスが提供できるよう医療体制の整備を実施する。また、医療に関する地域住民のニーズの把握に努める。

イ 福祉の充実

(ア) 取組の内容

核家族及び保護者が就労している世帯などへの子育て支援を実施する。

(イ) 中心地域の役割

- a ファミリー・サポート・センター事業の安定的な運営を図るとともに、圏域全体へ事業を拡大するために、会員募集などを実施する。
- b 病児・病後児保育事業の円滑な運営を図るとともに、圏域全体へ利用を拡大するための周知を図る。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 中心地域と連携し、広報活動などを通してファミリー・サポート・センター事業の地域住民への周知を図り、事業の利用を促進する。
- b 中心地域と連携し、広報活動などを通して病児・病後児保育事業の地域住民への周知を図り、事業の利用を促進する。

ウ 産業の振興

(ア) 取組の内容

- a 地域経済の自立及び活性化をめざして、魅力ある雇用の場を創出するために、地場産業の育成及び工業団地の整備による企業誘致を実施する。
- b 特産品の開発やブランド化の推進により、国内外での販路を拡大する。
- c 森林保全の積極的な推進とともに、林業生産基盤の整備促進及び新エネルギー分野などへの活用による林産物の高付加価値化により、林業の振興を図る。
- d 地場物産の展示施設の整備により、中心市街地への入り込み客の増加を図り、賑わいを再生する。また、当該施設を商業及び観光分野の交流拠点施設として活用することにより、地域産業の振興を図る。

(イ) 中心地域の役割

- a 新たな就業機会を確保するために、工場適地の確保や工業団地の整備を進めるとともに、周辺地域と協力して工業団地への企業誘致活動を積極的に実施する。
- b 周辺地域及び関係機関と連携し、広報・宣伝や市場調査の実施により、お茶・いちご・電照菊・ぶどうなどの主要農産物の販路拡大とともに、特産品の開発やブランド化を進める。
- c 周辺地域及び関係団体と連携し、森林資源の確保及び保全を推進するとともに、林産物の新エネルギー分野への活用などによる高付加価値化を進め、地域経済の活性化及び就業機会の確保を図る。
- d 地場物産の展示施設を周辺地域の住民の利用に供し、さらに圏域内外との交流拠点施設として活用することで、中心市街地の賑わい再生と地域産業の振興を図る。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 中心地域及び関係機関と連携し、積極的な企業誘致活動を実施する。

- b 中心地域及び関係機関と連携し、お茶・いちご・電照菊・ぶどうなどの主要農産物の販路拡大に取り組む。
- c 地域内の森林を貴重な地域資源として捉え、中心地域及び関係機関と連携し、その整備及び保全・活用を図る。
- d 広報活動などにより地場物産の展示施設の利用を地域内の住民に周知し、積極的な活用を促進する。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通ネットワークの構築

(ア) 取組の内容

八女市地域公共交通総合連携計画（以下「連携計画」という。）に基づき、圏域における公共交通の課題について継続的に調査し、検証するとともに、予約型乗合タクシーなどの新公共交通システムを構築する。

(イ) 中心地域の役割

- a 連携計画による予約型乗合タクシーの導入計画を踏まえ、実証運行などの方法により検証を行い、圏域における公共交通システムの総合的な推進と調整を図る。
- b 連携計画に基づき、路線バスと予約型乗合タクシーとの円滑な接続のために、周辺地域及び関係機関と連携し、必要な調整を図る。また、利用促進に向けた広報活動などを実施する。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 連携計画による予約型乗合タクシーの導入計画を踏まえ、実証運行などの方法により地域内の検証を行い、中心地域及び関係機関と連携し、必要な調整を図る。また、事業の利用促進に向けた広報活動などを実施する。
- b 連携計画に基づき、路線バスと予約型乗合タクシーとの円滑な接続のために、中心地域及び関係機関と連携し、必要な調整を図る。また、事業の利用促進に向けた広報活動などを実施する。

イ 情報格差の解消に向けたICTインフラ整備

(ア) 取組の内容

- a 圏域内の情報格差を是正するために、高速大容量通信ネットワークなどの地域情報通信基盤整備を実施する。
- b 緊急災害情報及び行政情報などの通信設備としてコミュニティFM放送施設の整備を実施する。

(イ) 中心地域の役割

- a 事業の総合調整を図り、周辺地域及び関係機関と連携して圏域内の高速大容量通信ネットワークの整備を実施する。
- b 事業の総合調整を図り、周辺地域及び関係機関と連携してコミュニティ FM 放送施設の整備及び運営の安定化を図る。また、利用者の増加に向けた広報活動などを実施する。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 中心地域及び関係機関と連携し、円滑な事業進捗のための調整を図る。また、高速大容量通信ネットワークの利用を促進するための広報活動などを実施する。
- b 中心地域及び関係機関と連携し、事業の円滑な進捗を図る。また、コミュニティ FM 放送の利用を促進するための広報活動などを実施する。

ウ 圏域内外の住民との交流・移住促進

(ア) 取組の内容

- a 圏域の観光拠点をネットワーク化することにより、圏域全体の魅力を向上させ、入り込み客数の増加による地域経済の活性化を図る。
- b 圏域が誇る多種多様な地域特性を保存・継承するとともに、展示施設の整備及び交流施設などの活用により、観光資源として活用し、地域経済の活性化を図る。
- c 圏域への移住希望者などに対する空き家の斡旋及び圏域内外の結婚適齢期の男女に対する結婚支援などにより、圏域の定住人口の増加を図る。

(イ) 中心地域の役割

- a 周辺地域及び関係機関と連携し、広域観光ルートの開発及び観光情報を発信する。
- b 展示施設の整備及び交流施設におけるイベントなどの開催を通して、圏域が誇る多様な地域特性を保存・継承するとともに、圏域内外に向けて地域情報を発信する。また観光事業者などとの連携を強化し、圏域への入り込み客の増加を図る。
- c 周辺地域及び関係機関と連携し、空き家に関する情報を収集し、圏域内外の利用希望者に向けて情報を発信する。また、結婚サポート事業の企画・運営及び会員増加に向けた広報活動などを実施する。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 中心地域と連携し、それぞれの区域内に存する観光施設及び観光

- 資源の魅力の向上を図り、圏域内外に向けて観光情報を発信する。
- b 中心地域及び関係機関並びに地元と連携し、地域特性の保存・継承を図り、地域に根ざしたイベント開催を支援する。
 - c 中心地域及び関係機関と連携し、地域住民へ事業の周知を図り、空き家バンク事業への登録物件及び結婚サポート事業の会員増加を図る。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 地域再生を担う人材の育成

(ア) 取組の内容

- a 地域再生の牽引車として期待される行政関係職員に対し政策研修を実施することにより、個々の職員の業務に対する知識を深めるとともに、企画・立案能力の向上を図る。
- b 地域課題の解決に住民等の参画を促し、その活動を支援することにより、住民主体の地域づくりを実施する。

(イ) 中心地域の役割

- a 事業の総合調整を図り、職員の研修参加への支援を実施する。
- b 関係団体間の総合調整を図り、事業周知のための広報活動などを実施する。

(ウ) 周辺地域の役割

- a 事業の総合調整を図り、支所職員の研修参加を支援する。
- b 地域内の関係団体間の総合調整を図り、事業周知のための広報活動などを実施する。

(その他)

第4条 この方針に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。



地域の暮らしが輝く
八女共生・交流ネットワーク

八女市定住自立圏共生ビジョン 平成 22 年 12 月
八女市 市長公室
〒834-8585 福岡県八女市本町 647
TEL:0943-23-1110
FAX:0943-22-2186
URL:<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>
E-mail: shichokoshitsu@city.yame.lg.jp